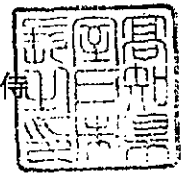


室 建 発 第 1 7 0 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

室戸市長 小 松 幹 伸



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありました標記の
件について、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

高知県 室戸市

道路財源の一般財源化について、

当市では地域住民が安全・安心な道路に改良すべき事業を行っております。地方道路は、劣悪な環境の中に設置されている道路が多く、利用者の生命の危機に関わる場所が多いのが現状であります。しかしながら、地方の脆弱な財政基盤からこれらの費用を捻出するに苦勞をしている状況でありますので、当市では地方改善対策事業で積み残した地区道路も多く、まだまだ整備をするための予算が必要であります。

また、道路整備の効果が通行量だけで判断されることについては、問題があると考えます。道路を良くすることによって地域で生活している人々の命が救われます。

国道を含め県道、市道などの重要道路は、地域住民だけが利用する施設ではないことから、基本的には国の責任において整備され各自治体が維持管理を行っていくことではないかと考えます。

今後とも道路整備予算の充実を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

高知県 室戸市

○現 状

・ 橋梁の長寿命化について、

国道の一部であった橋梁が新国道が整備されたことから各市町村道に移管されております。

この橋梁について、施設規模が大きく改良及び架け替え費用が多額となり、地方事業では対応が困難な状況であります。

・ 国道５５号の整備について

台風等による越波によりたびたび通行制限が発生し、そのたびに市道を迂回しております。

・ 室戸市佐喜浜町から東洋町野根間の通行規制について

豪雨のたびに通行止めが発生し、産業経済に影響している。

○課 題

国は「橋梁の長寿命化計画」として推進をしているところでありますが、この推進計画については一般の道路事業と同じ補助率であり、事業規模が大きく地方事業での対応が困難となっており、補助率増が望まれます。

室戸市元海岸部分の国道整備が県事業で行われているが、事業の進捗が遅く平成１６年度より整備に入り全体計画の３０％程の完成で、現在も越波のたびに通行制限が発生しており、危険が一向に改良されていない状況であります。

通行規制が発生しないように国道５５号の改良とともに、迂回路として高規格道路の早期整備が必要です。

○現 状

・室戸小学校前国道５５号右折ライン改良整備について
国道５５号が直角に曲がる当該部分での交通事故が多く、また右折レーンも無く交通渋滞の原因となっている。

・国道５５号歩道整備について
四国八十八箇所まわりの遍路道として、これら歩行者の安全が必要です。

・国道５５号吉良川地区歩道整備について
歩道整備がされておらず、家屋等が国道に迫り危険である。また、同地区は、重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、同地区を訪れる観光客についても事故に遭遇する危険性があります。

○課 題

用地関係者にはほぼ了承を得ており、早期に測量設計等の道路予算の確保をお願いします。

東洋町から室戸までの間の国道５５号沿いに歩道の設置や休憩所と便所の整備が必要です。また、地域からは道の駅の要望があります。

用地買収が可能な部分からの改良を望んでおります。

○現 状

・ 県道佐喜浜吉良川線改良について

室戸市は全体の 8 7 % が山林が占めており、山間地の道路改良が必要です。

○課 題

県予算不足の関係から事業の進捗が困難であります。
道路予算の増額が必要です

様式③

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

高知県 室戸市

高齢化が進む当地域の住民が安全、安心して住めるようにするための道路改良を進めるとともに、災害時における避難道や救急搬送や物資の搬送に迅速な対応が可能となる道路整備が必要です。

様式④

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

高知県 室戸市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・選択と集中による効果的な事業の実施	地域高規格道路の整備について 一般国道55号の整備について	当市における重症患者の救急搬送の86%が市外救急病院となっています。その中で高知市への搬送時間が平均93分となっています。 道路整備によりこの搬送時間が60分内になることから、患者の救命に繋がります。 当地域は、国道が海岸地帯を走ることから、東南海地震時における地震・津波による交通遮断が発生し、被災者や救助物資の輸送に支障が出る恐れがあります。 災害に強い国道等の整備が望まれます。	地域の老人化がすすみ、今後救急搬送処理が多くなります。 災害に強い国道を造るためには、トンネル計画も視野に入れた整備が必要です。

平成 1 9 年度 室戸市救急搬送先 実績 (室戸市消防署より)

	重症	中等症	軽症・他	死亡 (すでに死亡)	計
室戸市内	1 9 人 (1 4 %)	1 6 8 人 (4 1 %)	1 8 8 人 (5 4 %)	1 5 人 (8 3 %)	3 9 0 人 (4 3 %)
室戸市外 安芸郡 (4 0 分) 高知市 (9 3 分)	1 1 7 人 (8 6 %)	2 4 0 人 (5 9 %)	1 6 0 人 (4 6 %)	3 人 (1 7 %)	5 2 0 人 (5 7 %)
計	1 3 6 人 (1 0 0 %)	4 0 8 人 (1 0 0 %)	3 4 8 人 (1 0 0 %)	1 8 人 (1 0 0 %)	9 1 0 人 (1 0 0 %)

【表から見えること】

一刻を争う生命に関わる重症患者になると、まず市内では対応できない。

重症患者の高知市（主に医療センター）への搬送時間が 9 3 分と時間がかかることを、高規格道路の開通と国道 5 5 号の整備により 6 0 分に短縮が出来るのではないかと。